広報おばま

No.816
12
Dec.2021

悠久の歴史と風土が活きるまち
～新たな時代の御食国若狭おばま～

特集

市制施行 70 周年記念式典
個性が光る 高校生がつくる小浜市 PR 動画

【表紙】小浜市 PR 動画を制作した高校生の皆さん（背景は市内各地で撮影された「小浜市 PR 動画」の映像を使用）

市制施行 70 周年 記念式典

小浜市が３月 30 日に市制施行 70 周年を迎えたことを記念し、11 月３日㈬祝に、文化会館（大手町）で記念式典を開催。

松崎晃治市長があいさつしたほか、杉本達治県知事をはじめとする来賓や、市長表彰・文化奨励賞の受賞者、市民の皆さんなどが、市の節目を祝い、将来のまちづくりへの決意を新たにしました。

問い合わせ　総務課☎ 64・6002

市長表彰・文化奨励賞の受賞者は 4P ～ 9P に掲載

市長式辞（一部抜粋）

今年度は、「第６次小浜市総合計画」をスタートしたところであり、めざす将来像を「みんなで描く、悠久の歴史と風土が活きるまち～新たな時代の御食国 若狭おばま～」といたしました。

新型コロナウイルス感染拡大などにより、社会のしくみや生活様式が大きく変わる中においても、失ってはならない豊かな風土、歴史、文化、民俗、教育、産業、人柄など、小浜のアイデンティティを改めて見直し、守り、研き、育成してまいります。

あわせて、ＡＩ※1やＩｏＴ※2などの先端技術を柔軟に取り入れながら、小浜で暮らす皆様が、それぞれの夢を実現できる、夢と希望があふれるまちの姿をデザインしていくため、市民の皆様と協働し、「オール小浜体制」により、全力でまちづくりに取り組んでまいる所存でございます。

市の軌跡を後世に伝える「ときのはこ」

「ときのはこ」の中には、市の節目ごとの時勢が分かるものが収められています

▲文化会館

ときのはこの扉▶

市の 10 年を振り返る映像と、高校生制作の市 PR 動画（詳細は 3P）を収納

市ゆかりの人々から、祝賀メッセージが届きました

（会場での紹介順に）奈良県奈良市 仲川げん市長、埼玉県川越市 川合善明市長、大韓民国慶州市 朱洛栄市長、公益社団法人上方落語協会 笑福亭仁智会長、公益社団法人上方落語協会 桂文枝さん、拉致被害者 蓮池薫さん、拉致被害者 曽我ひとみさん、駐大阪・神戸米国総領事館 リチャード・メイ総領事

市の 10 年（平成 23 年～令和２年）を振り返る映像上映

式典全体の映像は、「チャンネルO」と動画共有サービス「YouTube」で視聴できます（視聴方法は 3P）

※１ 人工知能のこと　※２ 身の回りのあらゆるモノをインターネットにつなげるしくみのこと

若狭高校（若狭おばま御食国大使）

探究授業を発端に、小浜の食などの PR をする「若狭おばま御食国大使」を務める吉岡勇樹さん・和多田弥憂さん・森下智貴さん（いずれも２年生）。小学校で食に関する出前授業を行うなど活躍中。「サバの良さを伝えたい」と、動画制作に臨みました。

「小浜の食の魅力」を探りに事業者にインタビューし動画化

動画で伝える内容を話し合う
※写真は制作の様子を再現

「『僕らから見た小浜』をテーマに、ドキュメンタリーを作りたいと思った」と、話す３人。ラジオ番組を想起させる場面から始まる動画の最後には、夕暮れ時の海の映像を入れ、見る人の心を動かす「エモい※3」感じになるよう制作されました。

また、３人は、「小浜の水産業に関わる人の生の声を届けたい」と、3事業者にインタビューを実施。「動画を見てくれる人に、小浜の良さを知ってほしい。すでに知っている人にも、再認識してもらいたいし、自分たちの小浜への思いも知ってほしいですね」と、話してくれました。

個性が光る 高校生がつくる小浜市 PR 動画

この動画を含む記念式典の映像（2P）は、「チャンネルO」と動画共有サービス「YouTube」で視聴できます

チャンネルO【期間】12 月 11 日㈯・12 日㈰ いずれも 14 時から ※小浜市のみ
YouTube 小浜市公式チャンネル　12 月 13 日㈪以降、右の二次元コードを読み取って接続▶

若狭東高校 放送部

校内での式典時に式典の模様を大画面に投影したり、視覚障がい者向けの広報おばま「声の広報」の制作などをしたりして活動する同部。これまで培った動画制作技術を生かし、１～３年生の 18 人が、２～４人のグループごとに PR 動画制作に臨みました。

部員全員で話し合って決めた「伝統」・「観光」・「食」をテーマに、「伝統工芸紹介編」・「CM（コマーシャル）明通寺編」などの動画を制作しました。

市公認キャラクター「さばトラななちゃん」が観光名所をPRする「ななちゃんお散歩編」の動画を作った上中翔喜さん・村上智哉さん（いずれも2年生）は、「完成するまで、何回も修正を繰り返し、ななちゃんがどう映っているかを考えて、構図を工夫しました。皆さんに、動画に出てきた場所に行きたいと思ってもらいたいです」と、話してくれました。

画面の構図にこだわった作品たちが式典会場で披露される

撮影・録音・編集などを経て完成
※写真は制作の様子を再現

※３ 心動かされたときの、何とも言い表せない感情を表現する若者言葉

市制施行70周年記念

市長表彰

令和3年度

文化奨励賞

小浜市長表彰ならびに、文化奨励賞の表彰式を、11月3日㈬㊗に文化会館で開催し、松崎晃治(まつざきこうじ)市長と窪田光宏(くぼたみつひろ)教育長が、それぞれ受賞者に表彰状を贈りました。

問い合わせ　総務課☎64・6002　教育総務課☎64・6032

市制施行70周年記念 市長表彰　46個人5団体

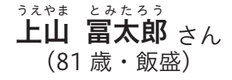
※年齢は、11月3日現在

徳行卓越功労

上山 冨太郎(うえやま とみたろう) さん
(81歳・飯盛)

平成19年から令和元年まで、子どもたちを犯罪被害や交通事故から守るため、加斗小学校の子どもたちの下校の見守り活動を続けられ、地域の治安維持に尽力されました。また、駒神社の社殿の修理や神社内の木の枝切りなど、地域での活動にも尽力されています。

徳行卓越功労



松山 貢(まつやま みつぐ) さん
(79歳・竹原)

平成25年から現在まで、雲浜小学校の子どもたちの登下校の見守り活動を続け、地域の治安維持に尽力されています。また、畑作りなどの栽培体験のサポート、校内の除草、庭木の枝切りなど、多岐にわたる学校ボランティア活動により、学校運営に多大な貢献をされています。

徳行卓越功労

岡本 泰徳(おかもと やすのり) さん
(78歳・飯盛)

平成19年から現在まで、加斗小学校の子どもたちの下校の見守り活動を続け、地域の治安維持に尽力されています。また、子どもたちへの田植え・稲刈り体験の指導や、民生委員・児童委員、荒木区ふれあいサロンの代表も務められ、地域の社会福祉の向上に貢献されました。

徳行卓越功労

伊藤 哲男(いとう てつお) さん
(60歳・駅前町)

平成20年から現在まで、子どもたちを犯罪被害や交通事故から守るため、小浜小学校の子どもたちの登校の見守り活動を続け、地域の治安維持に尽力されています。また、小浜地区の区長会長や小浜市区長連合会の会長も務められ、地域でも活躍されています。

徳行卓越功労

加納 暢子(かのう のぶこ) さん
(85歳・山手一丁目)

平成17年に山手一・二・三丁目ふれあいサロンを立ち上げ、平成18年から現在まで、山手一丁目ふれあいサロン代表として尽力されています。地域住民が気軽に参加し、世代を超えた仲間づくりができるサロン運営に取り組み、高齢者の健康や生きがいづくりに貢献されています。

徳行卓越功労

田中 正夫(たなか まさお) さん
(84歳・遠敷)

平成15年に市場・島・中村区の遠敷の郷(さと)ふれあいサロンを立ち上げ、現在まで代表として企画運営に尽力されています。サロンでは、いきいき百歳体操を取り入れ、高齢者の健康づくりや介護予防に貢献されています。平成16年からは中部親老会(しんろうかい)会長も務められています。

自治振興功労

森下 充(もりした あたる) さん
(72歳・金屋)

平成20年から平成28年まで小浜市監査委員を2期8年務められました。この間、公正で効率的な行政運営と市政の発展に尽力されました。また、平成25年から平成28年までは代表監査委員としての重責を果たされました。

自治振興功労

西本 清司(にしもと きよつか) さん
(65歳・和多田)

平成23年から平成31年まで、小浜市議会議員を2期8年務められました。この間、産業教育常任委員会委員長、人口問題対策特別委員会委員長、若狭消防組合議会議長などの要職を歴任され、市政の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

自治振興功労

前田 里美(まえだ さとみ) さん
(75歳・遠敷)

平成19年から平成27年まで小浜市選挙管理委員会委員を2期8年務められました。この間、公正かつ適正な選挙の執行および明るい選挙の啓発活動に尽力されました。民生委員・児童委員や小浜市赤十字奉仕団員としても活動されるなど、地域福祉の向上にも貢献されました。

自治振興功労

東 武雄(あずま たけお) さん
(71歳・加茂)

平成23年から令和元年まで小浜市副市長を2期8年務められました。この間、基盤産業と成長産業の育成、歴史・文化・食を生かした交流人口の拡大、安心安全に暮らせるまちを目指し、市民と行政の懸け橋となり、市政の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

自治振興功労

竹中 俊子(たけなか としこ) さん
(66歳・加茂)

平成23年から令和元年まで小浜市選挙管理委員会委員を2期8年務められました。この間、公正かつ適正な選挙の執行および明るい選挙の啓発活動に尽力されました。小浜市食生活改善推進員として、豊かな感性や知性により、食を通した健康づくりにも貢献されています。

自治振興功労

森下 博(もりした ひろし) さん
(73歳・今宮)

平成20年から平成29年まで小浜市教育長を務められました。この間、東部4地区の小学校統合問題に取り組まれ、平成31年4月の小浜美郷小学校の開校に尽力されるとともに、授業力向上のため、自ら学校現場に出向き教員を指導するなど、教育行政の推進に貢献されました。

自治振興功労

上窪 道雄(かみくぼ みちお) さん
(73歳・相生)

平成20年から平成26年まで小浜市固定資産評価審査委員会委員を2期6年務められました。この間、本市の公平公正な税務行政の推進に貢献されました。また、平成23年から平成25年までは、小浜市固定資産評価審査委員会委員長としての重責を果たされました。

自治振興功労

入江 深砂(いりえ みさ) さん
(60歳・千種一丁目)

平成23年から令和元年まで小浜市教育委員会委員を2期8年務められました。この間、本市の児童生徒の基礎学力や体力の向上、心の教育、食育の実践など、総合的な教育行政の推進に貢献されるとともに、平成31年4月の小浜美郷小学校の開校にも尽力されました。

自治振興功労

杉谷 しげよ(すぎたに) さん
(73歳・広峰)

平成24年から令和3年まで小浜市固定資産評価審査委員会委員を3期9年務められました。この間、本市の公平公正な税務行政の推進に貢献されました。また、平成27年から平成28年まで、および平成30年から平成31年までは、委員長として委員会の運営に尽力されました。

自治振興功労

細川 和伸(ほそかわ かずのぶ) さん
(74歳・広峰)

平成25年から令和3年まで小浜市監査委員を2期8年務められました。この間、公正で効率的な行政運営と市政の発展に尽力されました。また、平成28年から令和3年までは代表監査委員としての重責を果たされました。

自治振興功労

飛永（とびなが） 敏孝（としたか） さん
（73 歳・次吉）

平成23年から平成29年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務められました。優良農地の確保、農地パトロール、農地の利用状況調査、遊休農地の指導などに取り組み、特に国富地区で、農村・農業者の代表として本市の農業振興と農村の活性化に大きく貢献されました。

橋詰（はしづめ） 忠和（ただかず） さん
（69 歳・遠敷三丁目）

平成26年から令和2年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務め、優良農地の確保、農地パトロールなどに取り組み、本市の農業振興と農村の活性化に大きく貢献。現在は、一般社団法人遠敷高塚環境向上推進会の代表理事として、地域農業の発展などに尽力されています。

地村（ちむら） 豊司（とよし） さん
（66 歳・飯盛）

平成22年から平成30年まで小浜市加斗財産区管理委員を2期8年務められました。この間、平成26年から平成30年までは会長として、管理会の適正な運営に尽力され、加斗財産区が所有する山林などの現況確認や財産管理に貢献されました。

社会福祉功労

岩田（いわた） 順子（じゅんこ） さん
（68 歳・南川町）

平成22年から現在まで民生委員・児童委員を務められています。また、小浜市民生委員協議会連合会理事、小浜市第2民生委員協議会会長などを歴任されています。相談活動では、気持ちに寄り添い傾聴することに重きを置いた活動を通し、地域福祉の向上に尽力されています。

大下（おおした） 治夫（はるお） さん
（84 歳・山手一丁目）

平成6年から令和3年まで社会福祉法人若狭つくし会の理事長として若狭地域の障がい福祉サービスの向上に尽力。また、小浜市社会福祉協議会理事、福井県精神障害者保健福祉協会理事などを歴任し、多くの障がい者の自立支援や社会参加、社会復帰の促進に貢献されました。

富士（ふじ） くみ さん
（85 歳・津島）

昭和62年から現在まで小浜市赤十字奉仕団員として、地域福祉の向上に貢献されています。この間、分団長、常任委員、書記、副委員長、委員長、参与、顧問と役員を歴任され、団員の統率と奉仕団の組織力向上に尽力されるなど、団員の模範として活躍されています。

辻（つじ） 祐男（すけお） さん
（76 歳・多田）

平成14年から令和2年まで小浜市視覚障害者福祉協会副会長として、障がい者福祉の向上に尽力されました。また、小浜市身体障がい者福祉連合会副会長、福井県身体障害者福祉連合会理事などを歴任。現在は小浜市身体障がい者相談員として地域でも活躍されています。

河原（かわはら） 久枝（ひさえ） さん
（79 歳・和久里）

昭和62年から現在まで小浜市赤十字奉仕団員として、地域福祉の向上に貢献されています。この間、分団長、常任委員、監事、副委員長、委員長、参与、顧問と役員を歴任され、高い統率力を発揮されました。現在も常に笑顔と奉仕の精神を忘れず、活動に取り組まれています。

自治振興功労

大野（おおの） 治郎（じろう） さん
（71 歳・田烏）

平成20年から平成26年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務められました。内外海地区を中心に、優良農地の確保、農地パトロール、農地の利用状況調査、遊休農地の指導などに取り組み、農村・農業者の代表として本市の農業振興と農村の活性化に大きく貢献されました。

木崎（きざき） 喜代志（きよし） さん
（65 歳・飯盛）

平成23年から平成29年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務め、農業振興と農村の活性化に大きく貢献。平成29年から令和2年まで小浜市農地利用最適化推進委員として、農地利用の集積・集約化を推進。地域の中心的な農業者として、本市の農業の発展に尽力されています。

岡本（おかもと） 克雄（かつお） さん
（70 歳・府中）

平成20年から平成26年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務められました。優良農地の確保、農地パトロールなどに取り組み、本市の農業振興と農村の活性化に大きく貢献されました。また、小浜府中土地改良区の副理事として、土地改良区の管理運営に尽力されています。

森下（もりした） 正義（まさよし） さん
（85 歳・加斗）

平成18年から平成26年まで小浜市加斗財産区管理委員を2期8年務められました。この間、平成18年から平成22年までは会長職務代理者、平成22年から平成26年までは会長として、加斗財産区が所有する山林などの管理および管理会の運営に尽力されました。

自治振興功労

土井（どい） 銀太郎（ぎんたろう） さん
（70 歳・加斗）

平成23年から平成29年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務められ、優良農地の確保、農地パトロールなどに取り組み、本市の農業振興と農村の活性化に大きく貢献。平成21年からは、若狭農業協同組合の理事を3期9年務め、本市農業のけん引役として尽力されました。

岡（おか） 弘（ひろし） さん
（74 歳・西勢）

平成18年から平成26年まで小浜市加斗財産区管理委員を2期8年務められました。この間、加斗財産区が所有する山林などの現況確認において、山林を登り境界確認を実施。また、管理会においては、財産管理および適正な運営に尽力されました。

神田（かんだ） 喜久治（きくじ） さん
（69 歳・神宮寺）

平成23年から平成29年まで小浜市農業委員会委員を2期6年務められ、本市の農業振興と農村の活性化に貢献。平成29年から令和2年まで小浜市農地利用最適化推進委員として、農地利用の集積・集約化を推進。また、神竜忠土地改良共同施行の代表として活躍されています。

清水（しみず） 正明（まさあき） さん
（72 歳・飯盛）

平成18年から平成26年まで小浜市加斗財産区管理委員を2期8年務められました。この間、加斗財産区が所有する山林などの現況確認や財産管理に尽力されました。また、平成22年から平成26年までは会長職務代理者として管理会の運営に貢献されました。

社会福祉功労

北山（きたやま） 典男（のりお） さん
（74 歳・小松原）

平成22年から現在まで民生委員・児童委員を務められ、地域福祉の向上に尽力されています。常に地域住民に寄り添った相談・援助活動に取り組まれ、地区定例会での積極的な発言や提案、同地区委員への助言など、本市の民生委員・児童委員の育成にも貢献されています。

本馬（ほんま） 芳江（よしえ） さん
（73 歳・遠敷十丁目）

昭和62年から現在まで小浜市赤十字奉仕団員として、地域福祉の向上に貢献されています。この間、分団長、災害対策委員、常任委員、書記、委員長、参与と役員を歴任され、福井県で唯一の男性分団の設立にも尽力されました。現在も団員として精力的に取り組まれています。

村宮（むらみや） 美恵子（みえこ） さん
（70 歳・玉前）

平成22年から現在まで民生委員・児童委員を務められています。特にひとり暮らし高齢者への相談・援助活動に積極的に取り組み、地域福祉の向上に尽力されています。また、ふれあいサロン代表として誰もが参加しやすい参加者の目線に立ったサロン運営に尽力されています。

内藤（ないとう） 實（みのる） さん
（90 歳・城内一丁目）

昭和50年ごろより小浜市遺族会青壮年部の会員となり、全国戦没者追悼式の参列など、英霊顕彰や遺族援護活動に尽力されています。また、小浜市遺族会副会長、会長と役員を歴任。現在は顧問として次世代への戦争体験の継承や会員の親睦交流に貢献されています。

社会福祉功労

島田 玲子（しまだ れいこ） さん
（86 歳・神田）

昭和50年ごろより小浜市遺族会青壮年部の会員となり、全国戦没者追悼式の参列など、英霊顕彰や遺族援護活動に尽力されています。また、小浜市遺族会の副会長や女性部長、福井県遺族連合会理事などを歴任。現在小浜市遺族会顧問として、平和維持活動に貢献されています。

産業振興功労

山本 紀夫（やまもと のりお） さん
（69 歳・酒井）

昭和59年に小浜中央青果株式会社を設立し、代表取締役として本市の農業の発展と生鮮食料品の安定供給に貢献されました。また、平成13年から小浜市総合卸売市場株式会社の常務取締役に就任され、公正かつ適正な価格による流通圏域住民の生活の安定に尽力されています。

社会福祉功労

國嶌 健一（くにしま けんいち） さん
（85 歳・高塚）

昭和50年ごろより小浜市遺族会青壮年部の会員となり、小浜市遺族会副会長、会長と役員を歴任。現在も顧問として英霊顕彰や遺族援護活動に尽力されています。また、福井県戦没者遺族相談員として戦没者と県や国との重要な橋渡し役として貢献されています。

教育文化振興功労

日向 進（ひゅうが すすむ） さん
（74 歳・京都府）

平成11年から小浜市伝統的建造物群保存地区保存審議会副会長を務められ、平成21年からは会長として活躍されています。専門的見地からの指導・助言により、小浜西組の重要伝統的建造物群保存地区選定をはじめ、歴史的景観の保全、整備および防災対策に貢献されています。

社会福祉功労

植野 はま（うえの） さん
（84 歳・千種二丁目）

昭和50年ごろより小浜市遺族会青壮年部の会員となり、英霊顕彰や遺族援護活動に尽力されています。また、青壮年部副部長、会計、副会長、婦人部長と役員を歴任され、福井県遺族会の理事も務められました。世代間の役員の引継ぎの際は調整役としても活躍されました。

教育文化振興功労

髙嶋 猛（たかしま たけし） さん
（71 歳・福井市）

平成14年から小浜市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員に。平成21年からは副会長として活躍。専門的見地からの指導・助言により、小浜西組の重要伝統的建造物群保存地区選定をはじめ、歴史的景観の保全・整備・防災対策・市内文化財建造物の保存整備に貢献されています。

社会福祉功労

早見 靖彦（はやみ やすひこ） さん
（82 歳・山手三丁目）

昭和50年ごろより小浜市遺族会青壮年部の会員となり、戦没者追悼式の参列など、英霊顕彰や遺族援護活動に尽力されています。また、雲浜支部役員、支部長、小浜市遺族会会計と役員を歴任。現在も戦没者遺族の相談や世話役として活動に取り組まれています。

教育文化振興功労

河原 和夫（かわはら かずお） さん
（65 歳・東京都）

平成14年から杉田玄白賞審査委員会委員を務められ、令和元年からは会長として活躍されています。応募内容が高度化する中、医学・医療研究の専門的見地から公正かつ適正な審査に尽力され、本市の偉人顕彰・食育活動・健康福祉の振興に貢献されています。

小浜市老人クラブ連合会

社会福祉功労

昭和34年の設立以来、地域社会との交流などを通し、高齢者が豊かな生活を送るために活動し、高齢者の意見を市政に反映すべく審議会などへも積極的に参加。公共施設の清掃活動、小学生への田植え・野菜作りや交通安全指導にも尽力されています。

教育文化振興功労

前田 敦子（まえだ あつこ） さん
（74 歳・広峰）

昭和56年から小浜市華道連合会に在籍して、華道の指導のほか、地区敬老会や講演会会場において花を生けるボランティア活動をされています。また、茶道においても小中学生を指導。茶華道を通じて日本文化の継承発展、地域貢献および後進の指導・育成に貢献されています。

令和３年度

文化奨励賞

４個人

※年齢は、11月３日現在

教育文化振興功労

岸本 三次（きしもと さんじ） さん
（67 歳・泊）

昭和50年に書壇「玄朋社（げんぽうしゃ）」を創設以来、書道活動を通じて本市の文化振興に尽力。また、福井県文化協議会理事を務められ、現在は、若狭書道連盟会長、小浜市文化協会会長として活躍されるとともに、書道教室や講座開催など、後進の指導・育成にも貢献されています。

小浜市連合婦人会

教育文化振興功労

昭和24年の設立以来、女性の地位向上や明るい家庭づくり推進のために活動。また、地区公民館を拠点に地域活性化に努め、「ふるさとの昔話」の発刊、「若狭よい子のカルタ」作成、行事でのボランティア活動など、本市の社会教育推進に貢献されています。

功労の部

古谷 尚子（ふるたに ひさこ） さん
（85 歳・中井）

短歌の創作活動を続けられ、昭和63年４月に口名田短歌会を創立。長年にわたり、市の文化祭や短歌大会で、歌評者・選者を、平成７年から平成19年まで小浜市短歌協会副会長を務められたほか、複数の短歌会の指導にあたり、小浜市の文化振興に貢献されました。

松永いきいきふるさと塾

70周年記念奨励賞

松永地区のまちづくり計画を実行する組織として、平成16年に設立。松永音頭や松永カルタ制作、盆踊りの復活やカルタ大会など、積極的に地域行事を実施。また、登山道やビオトープの整備による環境保護活動など、地域の発展のために尽力されています。

奨励の部

玉井 正幸（たまい まさゆき） さん
（74 歳・生守）

若狭ギターアンサンブルや今富ギタークラブでの演奏活動を通して、地域の文化活動の盛り上げに活躍。平成28年からは小浜市文化協会の芸能部長として、協会の運営に尽力されるほか、令和元年に市で開催された「県選抜芸能祭」の舞台発表をまとめ、成功に導かれました。

コウノトリの郷（さと）づくり推進会

70周年記念奨励賞

平成23年の設立以来、ビオトープの造成、水田魚道の整備、人工巣塔の設置など環境保護に尽力。小学生を対象とした環境学習の実施など、地道な活動が実を結び、今年、コウノトリの57年ぶりの営巣、３羽のヒナの誕生と60年ぶりの巣立ちが実現しました。

奨励の部

木下 昇（きのした のぼる） さん
（61 歳・若狭町）

昭和56年に「小浜劇の会久須夜（現劇団久須夜）」に入会以来、地域に根差した題材を脚本化し公演する演劇活動を行って来られました。また、小浜市文化協会では、長年芸能大会の舞台監督を務めるなど、文化事業にかかる舞台運営の一翼を担われています。

アノミアーナ

70周年記念奨励賞

令和元年に設立され「ギザギザ湾美化美化計画」をスローガンに、若狭湾を拠点に、海ごみを資源に変える方法を模索しながら活動。海ごみの漂着状況などを調査し地図化、海岸管理者への事業提案、海ごみの再利用など、環境保護活動に取り組まれています。

奨励の部

大塩 輝夫（おおしお てるお） さん
（80 歳・口田縄）

平成21年に有志でよさこいチーム「糸桜吹雪（さくらふぶき）」を結成。地区の祭りなどで演舞を披露するほか、平成27年には、子どものよさこいチーム「輝桜組（きおうぐみ）」の結成に尽力。現在は、子どもたちの指導にあたるなど、青少年の健全育成、地域住民との交流に力を注がれています。

新型コロナウイルス感染症　関連情報

ワクチンの追加接種（3回目）を始めます

追加接種を順次実施します

市では、国が示すスケジュールに合わせて、3回目の追加接種を行います。

▼料金　無料

▼ワクチンの種類　ファイザー社製

※1・2回目とは異なるメーカー製のワクチンを接種する「交互接種」については、国から情報が示され次第、追ってお知らせします

▼対象者　市内在住で、新型コロナワクチンを2回接種し、2回目の接種からおおむね8カ月以上経過した人

※年齢や2回目接種後の経過期間については、国から情報が示され次第、追ってお知らせします

▼接種券の送付

対象者には、2回目の接種を受けた時期に応じて、順次、接種券と予診票を郵送します。1月中に接種対象になる人には、12月中に郵送予定です。

2回目の接種から8カ月経過しても接種券が届かない場合は、小浜市新型コロナワクチンコールセンター☎64・5654に相談してください。

▼接種日時・会場の設定

接種は、医療従事者など、優先接種を受けた人から順次、始めます。

65歳以上の高齢者など、一般接種を受けた人には、市が接種日時や会場を調整し、接種券の送付と合わせて案内するため、当面は予約不要です。接種時期は、下の表を目安にしてください。

案内した日時などが都合に合わない場合や、追加接種を希望しない場合は、電話またはWEB予約システムで、変更・キャンセルをお願いします。

※追加接種の実施状況により、WEB予約システムなどで予約する形式に切り替える場合があります。切り替えの際はあらためてお知らせします

1・2回目の接種も受け付け中

市では、1・2回目の接種の12月分予約を引き続き受け付けています。

12月に12歳の誕生日を迎える人は

12月1日～15日生まれの人には12月15日㈬に、12月16日～31日生まれの人には12月28日㈫に、それぞれ接種券を発送します。

3回目の追加接種日の目安（11月12日時点）

2回目の接種を受けた時期（令和3年）	接種券の送付時期と接種日							
	令和3年		令和4年					
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
3月～4月	券の送付	接種日						
5月		券の送付	接種日					
6月			券の送付	接種日				
7月				券の送付	接種日			
8月					券の送付	接種日		

※時期は目安です。追加接種の実施状況や、ワクチンの供給量などによって変更する場合があります
※令和3年9月以降に2回目の接種を受けた人についても、順次実施を予定しています

■問い合わせ　小浜市新型コロナワクチン接種対策チーム☎64・5654

年末年始も「マスク会食」！
感染対策を徹底しましょう

年末年始には、クリスマス、忘年会、新年会、帰省してきた家族との団らんなど、会食の機会が増えることが予想されます。

新型コロナウイルス感染症の流行「第6波」を阻止するためには、一人ひとりが、引き続き感染対策を徹底することが重要です。

県では、宴会時の感染対策について注意点をまとめ、県民の皆さんに徹底を呼びかけています。

楽しいひと時が、感染拡大によって嫌な思い出にならないように、皆さんのご協力をお願いします。

【感染対策のポイント】

①マスク会食を徹底

飲食中に会話をする場合は、必ずマスクを着けてから話しましょう。

食べ終わるまでは会話を控える「黙食（もくしょく）」も有効です。

②お店選びは「認証店」で

会食は、感染対策の認証を受けた「ふくい安全・安心認証店」で行いましょう。

認証店一覧

③大声は控える

大きな声を出すと、飛まつが飛び、感染が広がる元になります。

会話の際は大声は控えましょう。

④距離をとる

席と席の間は、1メートル以上の間隔を開け、距離をとりましょう。

⑤回し飲み・食器の共用はしない

食器などを介して、感染拡大の原因になります。

大皿料理などは、専用の取り箸を用意し、個別の皿に取り分けて食べましょう。

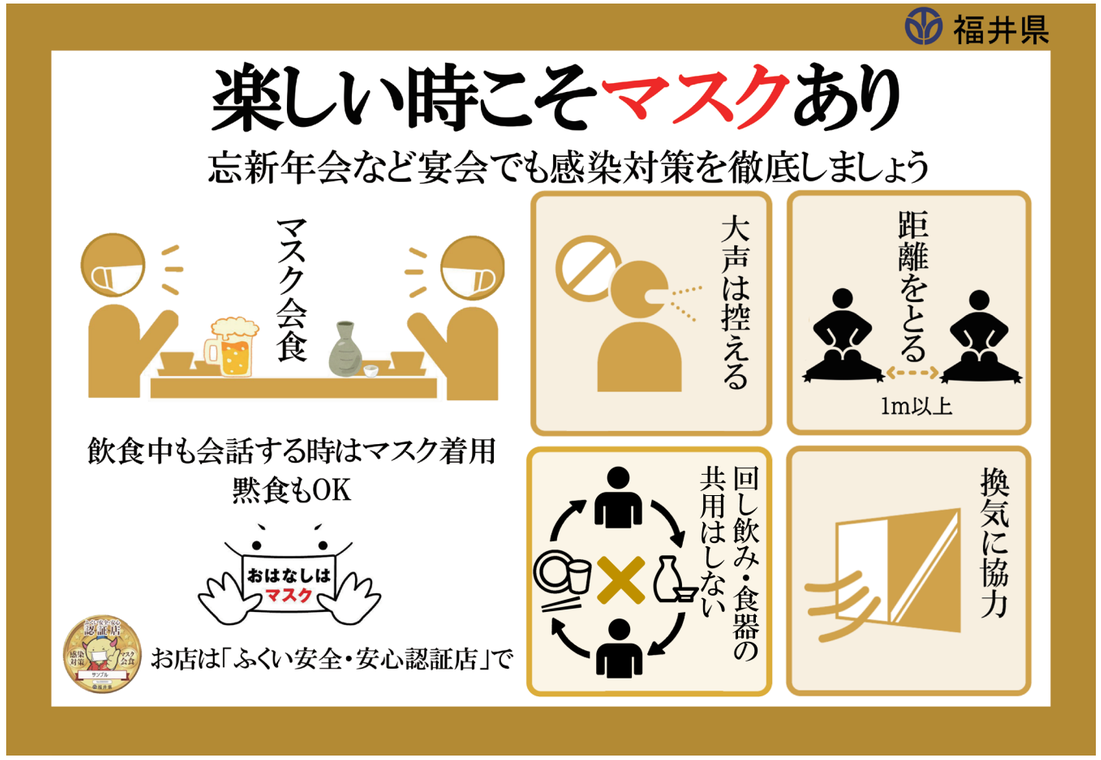
⑥換気に協力

こまめに部屋を換気し、空気を入れ替えることで、感染の危険性を軽減できます。

自宅はもちろん、飲食店などでも、積極的な換気に協力をお願いします。

⑦体調不良を感じたら参加しない決断を

せきや発熱など、少しでも体調が良くないと感じたら、会食に参加しないよう心がけましょう。



ー給料と手当ー

●一般行政職員の経験別、学歴別平均給料月額

経験年数	10 ～ 14 年	15 ～ 19 年	20 ～ 24 年
大学卒	256,600 円	294,000 円	351,800 円
高校卒	214,800 円	249,500 円	285,500 円

●一般行政職員の学歴別初任給

	小浜市	国
大学卒	182,200 円	182,200 円(Ⅱ種)
高校卒	150,600 円	150,600 円

●職員の平均給料月額と平均年齢

	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	307,700 円	41 歳 2 カ月
技能労務職	292,100 円	55 歳 8 カ月

●期末、勤勉手当

	期末手当	勤勉手当	計
6 月	1.30 カ月	0.95 カ月	2.25 カ月
12 月	1.25 カ月	0.95 カ月	2.20 カ月
計	2.55 カ月	1.90 カ月	4.45 カ月

●退職手当

	自己都合退職	勧奨・定年退職
勤続 20 年	19.6695 カ月	24.586875 カ月
勤続 30 年	34.7355 カ月	40.80375 カ月
最高限度額	47.709 カ月	47.709 カ月

●扶養手当

	月　額
配偶者	6,500 円
子	10,000 円
配偶者、子以外の扶養親族	6,500 円

●通勤手当

	月　額
交通機関利用の職員	6 カ月定期の額を一括支給
通勤距離が 2 ㌔以上	2,000 円～ 31,600 円

●住居手当

	月　額
借家に居住	限度額 28,000 円

●特殊勤務手当

危険、困難な職務についたときに支給。手当は 9 種類

●特別職の報酬、手当

	月　額	期末手当
市　長	850,000 円	6 月・12 月計 3.01 カ月
副市長	710,000 円	6 月・12 月計 3.18 カ月
教育長	630,000 円	
議　長	440,000 円	6 月・12 月計 3.35 カ月
副議長	370,000 円	
議　員	350,000 円	

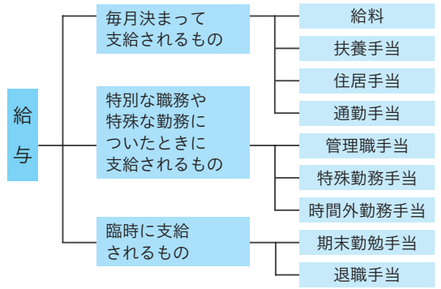
職員給与の公表

令和 3 年 4 月 1 日現在の給与の状況、職員数と人件費を公表します（一部、令和 2 年度支給割合含む）。職員の給与および定員については、詳細を市公式ホームページで公表しています。

※市職員に支給される給与は、地方自治法と地方公務員法に基づき、市議会の議決を経て市の条例で定められています

■問い合わせ　総務課☎ 64・6002

職員給与の仕組み



ー職員数と人件費ー

●部門別職員数（各年 4 月 1 日現在）

	職　員　数		
	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
一般行政関係	230 人	228 人	232 人
教育行政関係	29 人	30 人	23 人
公営企業関係	32 人	32 人	33 人
計	291 人	290 人	288 人

●職種別職員数（令和 3 年 4 月 1 日現在）

	職員数
部長、部次長、課長、主幹	55 人
課長補佐（保育園長含む）、企画主査	60 人
主査、主事、保育士など	171 人
技能労務職	2 人
計	288 人

●職員給与費（令和 3 年度当初予算）

	金　額
給　料	10 億 8,287 万円
職員手当	6 億 1,349 万円
計	16 億 9,636 万円
1 人当たりの給与費	573 万円

●人件費（令和 2 年度普通会計決算額）

歳出額（A）	人件費（B）	人件費率（B/A）
199 億 1,897 万円	26 億 1,517 万円	13.1%

令和 3 年度上半期の財政状況

4 月 1 日～ 9 月 30 日の予算の執行状況などをお知らせします（9 月 30 日現在）。
数値は表示桁未満を四捨五入していますので、合計などが合わない場合があります。

■問い合わせ　財政課☎ 64・6010

市民一人あたりで換算しました

市民 1 人当たりの税負担額 … 124,139 円

市民 1 人当たりに使われるお金 … 652,548 円

市民 1 人当たりの市債残高（借金）… 526,387 円

市民 1 人当たりの基金残高（貯金）… 87,590 円

※ 9 月 30 日現在の人口　28,672 人

■一般会計（歳入）　（単位：万円・%）

科　目	予算額	収入済額	執行率
市税	35 億 5,932	19 億 8,584	55.8
地方譲与税	1 億 1,600	5,267	45.4
利子割交付金	200	158	78.8
配当割交付金	1,200	443	36.9
株式等譲渡所得割交付金	700	0	0.0
法人事業税交付金	1,300	2,454	188.7
自動車取得税交付金	5 億 7,000	3 億 7,159	65.2
環境性能割交付金	1,500	486	32.4
地方特例交付金	7,400	2,582	34.9
地方交付税	54 億 1,500	36 億 8,079	68.0
交通安全対策特別交付金	250	137	54.7
分担金及び負担金	1 億 9,575	3,445	17.6
使用料及び手数料	2 億 4,004	9,868	41.1
国庫支出金	34 億 173	8 億 2,293	24.2
県支出金	14 億 6,446	1 億 9,902	13.6
財産収入	2,648	3,913	147.7
寄附金	2 億 8,021	3,661	13.1
繰入金	3 億 8,997	0	0.0
繰越金	2 億 3,670	6 億 7,898	286.9
諸収入	5 億 3,791	8,341	15.5
市債	21 億 5,080	0	0.0
合　計	187 億 987	81 億 4,669	43.5

■一般会計（歳出）　（単位：万円・%）

科　目	予算額	支出済額	執行率
議会費	1 億 8,793	8,733	46.5
総務費	31 億 4,911	7 億 5,053	23.8
民生費	54 億 5,168	16 億 6,925	30.6
衛生費	22 億 1,477	12 億 761	54.5
労働費	1 億 7681	1 億 3,888	78.5
農林水産業費	8 億 1,618	2 億 4,764	30.3
商工費	7 億 3,278	3 億 5,952	49.1
土木費	22 億 6,585	8 億 2,194	36.3
消防費	5 億 9,477	3 億 5,686	60.0
教育費	13 億 6,622	5 億 4,709	40.0
災害復旧費	0	0	-
公債費	17 億 4,541	8 億 7,302	50.0
予備費	837	0	0.0
合　計	187 億 987	70 億 5,967	37.7

【小浜市の財産と市債】

■市財産の現在高

土地		1,134,520㎡
建物		181,490㎡
山林		2,878,700㎡
有価証券		9,300 万円
出資による権利		1 億 1,390 万円
基金	一般会計	25 億 1,139 万円
	特別会計	6 億 2,184 万円

■市債、一時借入金の現在高

一般会計	150 億 9,256 万円
特別会計	22 億 9,187 万円
企業会計	126 億 2,948 万円
一時借入金	0 万円

■特別会計　（単位：万円・%）

会計名	予算額	収入		支出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	33 億 5,138	9 億 9,199	29.6	10 億 1,732	30.4
後期高齢者医療	4 億 1,548	1 億 4,079	33.9	1 億 3,948	33.6
介護保険事業	35 億 2,501	14 億 250	39.8	14 億 3,268	40.6
農業集落排水事業	4 億 7,474	1 億 2,219	25.7	2 億 1,444	45.2
漁業集落環境整備事業	6,154	1,471	23.9	2,063	33.5
加斗財産区運営事業	5	1	22.8	0	6.8

■企業会計　（単位：万円・%）

		収入			支出		
		予算額	収入済額	執行率	予算額	支出済額	執行率
水道事業	収益的収支	6 億 2,013	3 億 267	48.8	5 億 8,233	2 億 6,003	44.7
	資本的収支	8371	0	0.0	3 億 286	1 億 1,753	38.8
下水道事業	収益的収支	12 億 1,137	7 億 5,135	62.0	12 億 753	5 億 3,285	44.1
	資本的収支	9 億 731	1 億 5,769	17.4	13 億 4,665	5 億 141	37.2

Photo News フォトニュース

「北陸新幹線」に思いを乗せて

「新幹線が小浜にやってきた」図画コンクール表彰式で松崎市長が受賞者に表彰状を贈る（文化会館・10月16日）

技術と伝承の継続を目指して

庚申堂（こうしんどう）世話人会が青面金剛（せいめんこんごう）の使いの猿を型どった「身代わり猿（ざる）」の根付けづくり体験を実施（飛鳥・11月3日）

地区内を回る「ふるさと遠足」

西津小学校の児童が学習にゆかりのある場所の前で学びの成果を他学年に発表（新小松原・10月21日）

男女共同で「防災」を学ぶ

内外海地区の男女共同参画推進委員が災害時に備えた炊き出し訓練を実施（久須夜交流センター・10月9日）

小浜線 学生の意見を活性化につなげる

県主催の「高校生ワークショップ」で生徒が小浜線への思いを共有しグループごとに発表（若狭高校・10月26日）

「針畑越え」の道で京都を目指して

「第16回鯖街道体験ウオーキング」が催され参加者がまちの駅から京都市までを2日間かけて踏破（住吉・10月16日）

不戦の誓いを後世に

「小浜市戦没者追悼式」で小浜市遺族会など関係者40人が黙とうをささげ献花（働く婦人の家・10月21日）

伝統産業を次世代に伝承

史跡「若狭だるま窯」で地元の名産品であった若狭瓦の鬼瓦などを展示（上中井・10月23日）

国宝を舞台に音楽を楽しむ

国宝・明通寺本堂で「おてらでらいぶ」が催され3人組バンド「ザッハトルテ」が聴衆を魅了（門前・10月9日）

投票箱を乗せたバスが各地を巡る

県内初導入の「移動期日前投票所」が市内7カ所を巡り高校生などが投票（若狭東高校・10月25日）

新・健康管理センター建設へ

令和5年度の使用開始を目指す同センターの新築工事に向けて関係者が工事の安全を願う（南川町・10月22日）

有事に備えて訓練

本市などで「福井県原子力総合防災訓練」が行われ松永地区の住民が広域避難訓練に参加（おおい町・10月30日）

くらしの情報

小浜市役所
〒917-8585 小浜市大手町6-3
☎0770-53-1111（代）
FAX 0770-53-0742（代）
HP https://www1.city.obama.fukui.jp/

お知らせ

しない！させない！見逃さない！廃棄物の不法投棄・野外焼却

環境衛生課☎64・6016

12月は「不法投棄等防止啓発強調月間」です。

みだりに廃棄物を捨てたり、野外焼却を行ったりしないでください。自分の土地でも、みだりに廃棄物を捨てた場合は不法投棄となります。

このような行為は、廃棄物処理法違反により罰せられることがあり、5年以下の懲役または1000万円以下の罰金、またはその両方が科せられます。

廃棄物の不法投棄や野外焼却（野焼き）を見つけたら、「不法投棄110番」、または最寄りの健康福祉センター（保健所）や警察署（交番・駐在所）、市環境衛生課まで通報してください。

■不法投棄110番（県循環社会推進課）☎0776・20・0584
■若狭健康福祉センター☎52・1300
■小浜警察署☎56・0110
■市環境衛生課☎64・6016

令和4年成人式を開催

生涯学習スポーツ課☎64・6033

▼**とき** 令和4年1月9日㈰【受け付け】12時15分～【式典】13時～
▼**ところ** 文化会館（大手町）
▼**対象** 平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの人（市に住民登録がない人は事前申込が必要）
※新型コロナウイルス感染症対策のため、家族・一般の人は入場できません

古着の回収

環境衛生課☎64・6016

市では、燃やすごみの減量化やリサイクルの推進を図るため、無料で古着を回収します。

▼**とき** 12月11日㈯9時～12時
▼**ところ** クリーンセンター（谷田部）
▼**対象**【古着】洗濯した衣類全般（下着、靴下、毛布、ふとん、タオルなどは対象外）
※雨天決行。古着は雨にぬれないようにビニール袋に入れて持ち込んでください

雪に備える週間

都市整備課☎64・6027

12月1日㈬～7日㈫は「雪に備える週間」です。

冬を迎えるに当たって、「路上駐車禁止」、「冬用タイヤ着用」、「防災施設周辺の除雪」、「路上に出ている枝葉の撤去」など、ルールやマナーについてみんなで話し合い、協力して雪対策を進めましょう。

※当日は、対象以外の家庭ごみや粗大ごみは受け付けできません
※3月にも実施予定

競争入札参加資格審査（物品等）の申請の受け付け

総務課☎64・6003

市の物品などの競争入札に参加するためには、あらかじめ参加資格審査を申請し、市に登録する必要があります。

令和4・5・6年度の申請について、次の通り受け付けます。

▼**受付期間** 12月1日㈬～令和4年1月31日㈪
▼**申請方法** 市公式HPまたは総務課に設置の申請書に記入し、市庁舎（大手町）4階402会議室まで持参、または総務課あてに郵送

■市立図書館 今月の催し

クリスマスイベント

おはなし会＆とびだすクリスマスカードを作ろう！

とき 12月11日㈯10時30分～
内容 クリスマスにまつわるおはなしを聞いた後、とびだすクリスマスカードをつくります
定員 20人（要事前申込）

年末年始企画

年末年始はおうちでぬりえをたのしもう！

期間中、本を借りた児童に、オリジナルのぬりえを配布します。

完成したぬりえを図書館に持参すると、児童室に展示します。

【配布】12月15日㈬～令和4年1月31日㈪
【展示】令和4年1月6日㈭～1月31日㈪

おばま児童文学会「風夢」のおはなし会

とき 12月25日㈯11時～

■問い合わせ・申し込み
市立図書館（白鬚）☎52・1042

募集

「心あたたまる手紙」作品

生涯学習スポーツ課☎64・6033

12月4日㈯～10日㈮の「人権週間」にちなんで、「心あたたまる手紙」作品を募集します。

▼**内容** 人とのふれあいの中で体験したあたたかなエピソードや、うれしかったこと、感謝の気持ちなどを、手紙で紹介してください。
部門別（小学校（低学年・高学年）、中学校、一般）の入賞者に記念品を贈呈します。
▼**応募方法** 原稿用紙または所定の応募用紙に、手紙の本文（200字以内）、住所、氏名、連絡先を記入し、生涯学習スポーツ課または中央公民館（大手町）へ提出
※応募用紙や実施要項は、生涯学習スポーツ課、各公民館、または市公式HPから入手
▼**応募期限** 令和4年1月11日㈫

「福井県の新しい鉄道会社」名前

福井県並行在来線準備株式会社

現在JRが運行している北陸本線の運営を引き継ぎ、令和6年春に開業する、新しい鉄道会社の名前を募集します。

▼**募集期間** 12月1日㈬～令和4年1月16日㈰
▼**内容** 社名に採用された1人に、賞金20万円、記念乗車券を贈呈し、開業イベントに招待します。ほか、抽選で7人に、沿線7市町の特産品をプレゼントします。
▼**応募方法** 福井県並行在来線準備株式会社HP（https://www.fukui-heizai.co.jp/name.html）、または地区公民館や図書館などに設置のチラシ（専用はがき付き）で応募
▼**問い合わせ** 福井県並行在来線準備株式会社総務企画課☎0776・20・0294

応募は
こちら▶

令和4年度小浜市奨学生

教育総務課☎64・6031

▼**対象** 市内在住で、高校・高専・専修学校・短大・大学への進学を希望する、貸付要件を満たす人
▼**奨学資金** 【高校・高専】1万円、【専修学校】2万円、【短大・大学】3万円
▼**返済期間** 修業から6年以内（無利子・無担保）
▼**申し込み** 令和4年2月9日㈬までに、各中学校・高校に設置の申込用紙を教育総務課に提出

講正学舎入舎生

（公財）雲浜奨学会☎03・3327・7800

講正学舎は、東京の大学に進学する学生のためのマンション（ワンルーム型）です。運営する公益財団法人雲浜奨学会では、来年4月の新入舎生を募集します。

▼**所在地** 東京都世田谷区松原二丁目34の6
▼**募集エリア** 福井県および近隣府県
▼**募集人数** 男子若干名、女子3人
▼**募集期間** 12月1日㈬申込書類受け付け開始
※詳しくは雲浜奨学会HP（https://www.unpin.jp/）を参照してください

放送大学4月入学生

放送大学福井学習センター☎0776・22・6361

放送大学は、文部科学省と総務省が所管する通信制大学で、年齢・職業にかかわらず、幅広い科目をテレビやインターネットで学べます。

▼**募集期間** 【第1回募集】11月26日㈮～令和4年2月28日㈪【第2回募集】令和4年3月1日㈫～3月15日㈫
※詳しくは問い合わせてください

健康・福祉

市内医療機関での生活習慣病健診

健康管理センター☎52・2222

特定・基本健診（国民健康保険・後期高齢者医療保険の加入者が対象）が受診できる市内の医療機関は、次の8カ所です。

健康管理センターで実施する集団健診は、今年度は12月3日㈮が最後です。12月4日㈯以降は、次の8カ所で個別に受診してください。

▼**医療機関** 杉田玄白記念公立小浜病院（後期高齢者医療保険の加入者は受診不可）、いちせクリニック、木村医院、しんたにクリニック、田中病院、中山クリニック、にしお内科クリニック、本馬医院
※受診券が必要です。持っていない人は健康管理センターまで問い合わせてください
※市外にも受診できる医療機関があります。詳しくは問い合わせてください

パブリックコメントの実施を予定しています

■問い合わせ　広報・デジタル推進課☎ 64・6009

重要な計画などを決める際に意見を公募

市では、市民の皆さんの生活に直接、大きな影響を与える計画や条例などを定めたり、変更したりする場合に、素案の内容を公表して市民の皆さんの意見を募る「パブリックコメント制度」を定めています。

令和４年３月までの期間中に、下記の計画などについて、パブリックコメントを実施する予定です（それぞれの実施期間は、おおむね３週間程度）。

意見は市役所や公民館の窓口で

実施期間中は、担当課、広報・デジタル推進課、各公民館の窓口や、市役所の宿日直（土・日・祝日のみ）、市公式 HP で、素案の閲覧および意見の提出ができます。

提出された意見については、後日、市の考えと合わせて公表します。

詳細な実施日程については、決まり次第、市公式 HP などであらためてお知らせします。

計画等の名称	担当課	目的や内容
第 11 次小浜市交通安全計画 ※実施中（12 月９日㈭まで）	生活安全課	県の計画に合わせて、令和３年～７年の交通安全に関する市の施策を定める
小浜市地域福祉計画	市民福祉課	地域住民や社会福祉関係者が主役となって、生活全般にわたる福祉向上を図るための計画を定める
小浜市環境基本計画	環境衛生課	市民・事業者・行政が参加する環境保全の方向性を明らかにし、今後の環境行政を総合的・計画的に進めるための計画を定める
小浜市食育推進計画	食のまちづくり課	前計画にあたる「小浜市元気食育推進計画改訂版」の期間が満了したことに伴って、食育の推進にかかる新たな計画を定める
若狭おばま観光戦略	商工観光課	地域全体での観光ターゲットと提供価値、推進体制、目標について検討し、小浜が観光地として発展していくための戦略を策定する

宝くじの助成金で防災備品を整備しました

■問い合わせ　生活安全課☎ 64・6006

宝くじの普及広報事業として、一般財団法人自治総合センターからの助成で、高塚区自主防災会が防災備品を整備しました。

▲整備備品

発動発電機４台、投光器２台、水中ポンプ２台、折り畳みリヤカー１台、トランシーバー８台、ＡＥＤ１台、消防ホース３本

第 20 回「杉田玄白賞」受賞者記念オンライン講演会を開催します

■問い合わせ　文化交流課☎ 64・6034

進歩的な取り組みを表彰

市では、郷土の偉人・杉田玄白の功績をたたえ、毎年、「食と医療」などのテーマに沿った進歩的な研究や取り組みを実施している人の中から、功績顕著な人を表彰しています。

受賞者が決定し記念講演会を開催

今年は全国から 11 件の応募があり、右の２人が「杉田玄白賞」および「杉田玄白賞奨励賞」に選ばれました。

受賞者による記念オンライン講演会および表彰式を、下記の通り開催しますので、ぜひ来場してください。

記念講演会および表彰式

と　き　12 月 11 日㈯ 13 時 30 分～

ところ　働く婦人の家（大手町）

※会場でオンライン講演会を観覧。受賞者はオンラインで参加

杉田玄白賞

村田 幸久 さん
（東京大学大学院 准教授）

記念講演

食物アレルギーの診断と治療技術の開発
～小さな子供が食べたいものを自由に食べられるように～

食物アレルギーは、時に命を危険にさらし、簡単な診断や治療の方法がありません。小さな子どもからでも採取が容易な尿を用いた、食物アレルギーの診断技術・治療法の開発について紹介します。

杉田玄白賞 奨励賞

金子 賢太朗 さん
（京都大学大学院 特定助教）

記念講演

食と脳のコミュニケーションによる肥満の改善
～腸脳連関による視床下部の食欲調節ホルモン作用の制御～

「食」の字は「人を良くする」と書きますが、脳の食欲中枢である視床下部と、食成分の相互作用は、ほとんど解明されていません。講演では、消化管由来のホルモンや食成分が食欲中枢に作用する新しいメカニズムと食シグナルによる肥満の改善について紹介します。

「杉田玄白記念学問事始大賞」の受賞グループが決定しました

■問い合わせ　文化交流課☎ 64・6034

今年は「杉田玄白賞」20 周年・市制施行 70 周年の年です。市では、全国の高校生を対象に、「食と健康」「食育」に関する探究的な取り組みや研究を募集しました。

全国の９校から計 22 件の応募があり、下表のとおり受賞グループを決定しました。受賞グループの発表の一部は、市公式 HP から見ることができます。

表彰内容	研究タイトル	高校名	グループ名
最優秀賞	“石鎚黒茶” の科学的な分析	愛媛県立西条高等学校	三代目黒茶ガールズ
優秀賞	線虫から学ぶ健康寿命延！！	愛媛県立松山南高等学校	線虫ガールズ
入賞（第３位）	野菜に含まれる抗酸化物質の定量	愛媛県立松山南高等学校	ビタミンＣ班
入賞（第４位）	へしこの食べ合わせについて	福井県立若狭高等学校	へしこ愛好グループ
入賞（第５位）	健康機能性のあるサワラ缶詰開発	福井県立若狭高等学校	サワラ
入賞（第６位）	宇宙鯖缶よっぱらい鯖で健康に	福井県立若狭高等学校	宇宙日本食開発チーム
入賞（第６位）	健康機能性チョウザメ缶詰開発	福井県立若狭高等学校	チョウザメ

Event 市内の催し物情報を発信 イベントスケジュール

2021 12

11月26日㊎～12月5日㊐　市制70周年特別展示 小浜商人と北前船船主 古河屋嘉太夫

古河屋歴代当主の肖像画や、小浜藩主との交流・経営手腕がうかがえる文書などを展示します。海に開かれた城下町、大都会小浜の姿をのぞいてみませんか。

時 9時～17時　※11月29日㊊は休館　金 無料

所 若狭図書学習センター（南川町）　問 文化交流課☎64・6034

【連携イベント】文化遺産カード第2弾発行カードラリー

特別展に合わせて、関連文化財の「文化遺産カード」3種を新たに発行しました。期間中、文化財を訪問し3種のカードをそろえると、特製クリアファイルがもらえます。詳しくは小浜市の歴史と文化を守る市民の会HP（右の二次元コード）まで

11月26日㊎～12月26日㊐　まちの駅イルミネーション「小浜夢回廊・夢眼」with ナイトマルシェ

時 17時～21時　所 まちの駅（白鬚）　問 まちの駅☎52・2000

内 イルミネーション点灯のほか、期間中の毎週㊏17時～20時には、キッチンカーや駅内カフェの限定メニューなどが登場します。

5日㊐　もっと知ろう　小浜の歴史と文化⑧

観光ボランティアガイド「若狭の語り部」による、市民公開講座の第8回は、国指定名勝の庭園がある萬徳寺、丈六の釈迦如来坐像のある国分寺、女帝・元正天皇を模した木造十一面観音菩薩立像のある羽賀寺を巡ります。

時 13時20分～16時30分　金 無料

所 道の駅「若狭おばま」（和久里）に集合

申 1日㊍までに要事前申込。先着30人

問 観光ボランティアガイド若狭の語り部 担当 松木さん ☎090・2121・5209

17日㊎・18日㊏　食文化館 季節の調理体験

「おせち料理」をテーマに、伝統料理「れんぼ」、小鯛の手まりずし、へしこ入りだて巻、昆布巻、あん餅雑煮を作ります。

時 いずれも10時～13時　所 食文化館（川崎三丁目）

金 1,000円　申 3日前までに要事前申込。先着16人

問 食文化館☎53・1000

18日㊏　第9回桂福丸旭座落語会

時 ①15時～、②18時～　所 まちの駅旭座（白鬚）

金 前売券2,000円　当日券2,500円　※全席自由席

問 さんだ楽語協会事務局☎050・5328・6945

19日㊐　まちかどコンサート

時 14時～　所 まちの駅旭座（白鬚）　金 無料

内 出演：TRIO AXIS（弦楽バンド）、ナディア・アズィ（ピアニスト）

問 ハーモニーホールふくい☎0776・38・8289

19日㊐　ひきたて・打ちたてそばを堪能しよう

市では、食に秀でた人を「食の達人」に認定し、その知識や技術を伝える事業を行っています。そば打ちの「食の達人」、高鳥重郷さんによるそば打ち講座を開催します。

※持ち帰り容器を持参

※密を避けるため、1セットを4人以上での調理は不可

時 ①10時～12時、②14時～16時　※内容は同じ

所 食文化館（川崎三丁目）　金 1,000円（1セット（6食分））

申 3日前までに要事前申込。各回先着16人

問 食文化館☎53・1000

25日㊏　迎春フラワーデザイン講座

時 ①14時～15時30分、②19時～20時30分

内 正月用フラワーアレンジメント作り
講師：松川知香子さん（日本フラワーデザイナー協会本部講師）
※花切りバサミ、持ち帰り用袋を持参

所 働く婦人の家（大手町）

金 3,000円（材料費、花器代込み）

申 11日㊏までに要事前申込。各回先着20人

問 働く婦人の家☎52・7002

右のページにもイベント情報を掲載しています

凡例

時＝時間　所＝会場　対＝対象　内＝内容　金＝料金
申＝申込締切、定員など　問＝問い合わせ先、申込先

■年末年始の業務ガイド

○…平常業務　×…休館・休業　△…一部のみ／時間変更

施設	12月 25㊏	26㊐	27㊊	28㊋	29㊌	30㊍	31㊎	1月 1㊏	2㊐	3㊊	4㊋	5㊌	問い合わせ・備考
市役所 各課窓口	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	市役所（代表）☎53・1111 12月29日㊋～1月3日㊊の出生、死亡などの「戸籍の届け出」「火葬の予約」は、宿日直の職員が受け付けします
市役所 市民サービスコーナー	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
市立図書館	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	☎52・1042
中央公民館	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	市役所（代表）☎53・1111 各地区公民館については、各館へ問い合わせてください
温水プール	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	☎53・0450
市民体育館	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	☎53・0085
総合運動場	○	○	○	△※	×	×	×	×	×	×	○	○	☎58・0837 ※12月28日㊋は17時まで、予約の受け付けのみ行います。施設利用はできません
子育て支援センター	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	☎56・3386
食文化館	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	☎53・1000
濱の湯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☎53・4126
濱の四季	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	☎53・0141
道の駅「若狭おばま」	○	○	○	○	○	×	×	×	△※	○	○	○	☎56・3000 ※1月2日㊊は物販施設のみ、10時～17時営業です
まちの駅 旭座	○	○	○	×	×	×	×	×	×	△※	×	○	☎52・2000 ※1月3日㊊は「かるた始め」の開催のみで、その他の施設は利用できません
あいあいバス	○	○※	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	新幹線・交通まちづくり課☎64・6067 ※毎週日曜日は事前予約が必要です
ごみの収集	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	環境衛生課☎64・6016
クリーンセンター	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	☎53・5550 受付時間は9時～16時
リサイクルプラザ	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	☎59・9000 受付時間は9時～16時 事業所が、年内にリサイクル可能な資源ごみを持ち込む場合は、12月28日㊋までに環境衛生課☎64・6016の承認を受けてください。個人は不要です
し尿のくみ取り	年末は大変込み合いますので、12月10日㊎までに予約してください												㈱アクアテック☎64・5460

26日㊐　REINAN国際交流のつどい2021

Event 市内の催し物情報を発信 イベントスケジュール 2021 12

時 13時～15時30分　金 無料

内 落語家「にしゃんた」さんによるオンライン講演「幸福度日本一ふくいのみなさんへ～ちがいを楽しみ、力にかえる～」など

申 20日㊊までに要事前申込

所 各家庭からオンラインで参加、または旭座（白鬚）のパブリックビューイングに参加
※パブリックビューイングは敦賀、高浜でも実施

問 同実行委員会事務局☎0770・21・3455
※申し込みは県国際交流嶺南センターHP（右の二次元コード）から

■12月の休館日

市立図書館	7日㈫・14日㈫・19日㈰・21日㈫・28日㈫～31日㈮
温水プール	6日㈪・13日㈪・20日㈪・27日㈪～31日㈮
若狭図書学習センター	6日㈪・13日㈪・20日㈪・27日㈪・29日㈬～31日㈮ ※23日㈭は2Fのみ休館
市民サービスコーナー	19日㈰・29日㈬～31日㈮

年始については、20Pの「業務ガイド」をご覧ください

■12月の休日当番医

5日㈰	★木村医院（四谷町）	☎53・1260
12日㈰	いちせクリニック（南川町）	☎53・2415
19日㈰	★小津外科医院（日吉）	☎52・0072
26日㈰	★しんたにクリニック（駅前町）	☎64・5321
30日㈭	中山クリニック（多田）	☎56・5588
31日㈮	★吉井医院（塩竈）	☎52・0028

※★印の当番医の日は、小児患者は、杉田玄白記念公立小浜病院（大手町）で小児科医が休日診療を行います

12月の窓口延長について

市役所1階の窓口（市民福祉課、高齢・障がい者元気支援課、子ども未来課、税務課、環境衛生課、会計課）では、毎週金曜日（祝日・年末年始を除く）の執務時間を18時30分まで延長しています。

■子育て応援情報

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

催し	内容	とき	ところ・問い合わせ
誕生会※	今月に誕生日を迎えるお子さんのお祝いをしましょう。	12月22日㈬ 10時～11時	子育て支援センター 問同☎56・3386
母乳育児相談	助産師による母乳育児の相談です。体重・ほ乳量の測定も可能。	12月21日㈫ 10時～11時30分	働く婦人の家 問健康管理センター ☎52・2222
スクスク元気っ子教室※	離乳食の相談、発育・発達、育児など子育て相談。身体計測も可能です。	12月20日㈪ 10時～11時	健康管理センター 問同☎52・2222

■高齢者いきいき情報

内容は変更される場合があります

催し	内容	とき	ところ・問い合わせ
カフェ・ぽ～れ	高齢者の生きがいや認知症予防の活動・相談ができます（参加費100円）。	12月17日㈮ 10時～11時30分	若狭ふれあいセンター 問坂上和代（さかがみかずよ）さん ☎090・5686・4147
おひさまカフェ	認知症予防に関わる人たちの憩いの場です（参加費100円）。	12月21日㈫ 10時～12時	ふるさと茶屋「清右ヱ門」 問小川（おがわ）さん☎64・5142

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や変更になる場合があります。
参加を希望する人は、各問い合わせ先に事前に確認してください。

■各種相談

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります

相談名	内容	とき	ところ・問い合わせ
出張年金相談※	年金額の確認や、年金に関する手続きを行うことができます。	12月9日㈭・23日㈭ 10時～12時、13時～15時	文化会館 問敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
結婚相談	結婚に関する相談に、婦人福祉協議会の相談員が応じます。	12月16日㈭ 9時30分～11時30分	文化会館 問小浜市婦人福祉協議会 ☎090・4329・0346
結婚相談（本人のみ）		12月25日㈯ 13時30分～15時30分	
弁護士無料相談※	法律問題全般について相談ができます。	12月7日㈫ 13時30分～15時	働く婦人の家 問福井弁護士会 ☎0776・23・5255
法律相談（消費生活トラブル）※	消費生活に関する相談に、弁護士もしくは司法書士が応じます。	12月23日㈭ 14時～16時	嶺南消費生活センター 問同☎52・7830
高齢者専門相談（法律）※	遺産相続、土地問題などについて、弁護士が相談に応じます。	12月16日㈭ 13時～16時	県社会福祉協議会嶺南支所 問同☎52・7833
行政相談※	行政に関する手続きや苦情などの相談に、行政相談委員が応じます。	12月21日㈫ 13時30分～14時30分	市役所問広報・デジタル推進課☎64・6009
女性向け出張就業相談	仕事に関する不安解消やキャリアアップなど、「働きたい」女性の相談に応じます。	12月1日㈬ 10時30分～15時30分	働く婦人の家 問ふくい女性活躍支援センター ☎0776・41・4244
精神保健相談※	心の病気や、アルコール問題、認知症に関する相談に精神科医が応じます。	12月7日㈫・21日㈫ 10時～11時30分	若狭健康福祉センター 問同☎52・1300
エイズ、肝炎相談・検査	匿名で、エイズ・肝炎に関する検査や、相談（月～金、8時30分～17時）を受けることができます。	12月6日㈪・20日㈪ 9時～10時30分	
夜間エイズ相談・検査※	12月1日の世界エイズデーに合わせて、夜間、エイズ検査や相談に応じます。※検査は、感染の恐れがある日から、3カ月以上経過後に受けてください	12月3日㈮ 17時30分～19時	
こころの相談	心の悩みを相談してください。	①毎週㈬10時～16時 ②毎週㈮12時～17時	①市社会福祉協議会 問同☎56・5802 ②つみきハウス 問同☎53・1190
心配ごと相談	介護など生活での困りごとの相談に応じます。	12月8日㈬ 13時～16時	市社会福祉協議会 問同☎56・5802
人権相談	12月4日～10日の人権週間に合わせて、相談できる時間を拡大して開設します。悩みごと、心配ごとのある人は、気軽に相談してください。	12月7日㈫ 10時～16時	働く婦人の家 問福井地方法務局小浜支局 ☎52・0238

女子バレーボール部　キャプテン

岩本（いわもと） 菜花（ななか） さん

（小浜第二中学校２年生）

本音で助言し合えるチームに

小浜第二中学校女子バレーボール部では、1・2年生12人が、声をかけ合って練習を積み重ねています。

小学生の頃から、地区のバレーボールチームで腕を磨いたキャプテンの岩本さんは、攻撃の主力としてチームを支えます。「バレーボールは、相手の攻撃を抑え、みんなでボールをつないで打ち込むところがおもしろいです。みんなで1点が取れると、うれしいし楽しい」と、笑顔で競技の魅力を話します。

夏の大会後、3年生が引退し、新体制となった同部。部員全員で決めた目標は、臨む試合に「全部勝つ」。

岩本さんは、部の雰囲気について、「部員全員の仲が良い。試合で惜しいプレーをした人には、みんなが声をかけたり、手を重ねたりして励まします。励まされると、勇気が出て、『次がんばろう』と思うことができます」と、語る一方、「プレーの改善点は言いづらいときがあります。日々の練習から、学年問わず本音で助言し合える、強いチームにしていきたいです」と、思いを話してくれました。

文芸部　部長

小嶋（こじま） 大翔（だいと） さん

（若狭高校２年生）

部員らの多彩な作品を1冊に

1・2年生の男女9人がにぎやかに活動する若狭高校文芸部。活動レポートや創作小説を掲載した部誌「若菜」「Fortune（フォーチュン）」を年間計4回発行し、学校内外で配布しています。

部長の小嶋さんは、ページ割りや発行部数などを決め、部員たちの作品を1冊にまとめる〝編集長〟です。「同じ創作小説でも、部員によってファンタジーや恋愛もの、ホラーなど、得意分野は多彩。毎回、最初の読者として、どんな作品があがってくるかワクワクしています」

同部は、部員の大半が兼部ながら、「週1回の活動日には、たいていみんなそろいます」と意欲的に活動。小嶋さんはその理由を、「学年問わず、気軽に話せる居心地の良い部。それほど本好きではなかった自分が入部したのも、この雰囲気があったからこそです」と語ります。

11月には、部誌の冬季号を発行した同部。小嶋さんは、「部員たちの作品にファンがついてくれればうれしい。少しでもその手伝いができれば」と、笑顔で話してくれました。

勤務先　認定こども園 聖ルカ幼稚園

宮脇（みやわき） 里彩（りさ） さん（22歳）

可能性を広げられる保育者に

宮脇さんは、聖ルカ幼稚園（千種二丁目）で、0歳児～1歳児を預かる保育教諭の仕事をしています。

「幼い頃から年下の子の面倒を見るのが好きでした」と話す宮脇さん。「自分が幼児のとき、担任の先生に愛情を持って、保育してもらったことをよく覚えています。今度は私が、愛情を子どもに与えたい」と思い、保育の道へ。短大で学んだ後、保育実習で訪れた同園に就職しました。

「幼児期の保育は、人間形成に深く関わります。子どもが安心して過ごせる場所をつくりながら、成長に寄り添いたい」と、笑顔を見せる宮脇さん。子どもの成長を後押しするために、「やる気を大切にしながら、意欲が出るような言葉かけをします。成長を見られたとき、自分のことみたいにうれしいですね」と、ほほえみます。

今後について宮脇さんは、「子どもの可能性を広げられる保育者になりたい。創造性や協調性など、数字では測れない力を伸ばしていってあげたいです」と、話してくれました。

小浜第九実行委員会　実行委員長

大橋（おおはし） 導子（みちこ） さん（68歳）

音楽で夢や元気を届けたい

市民らが、ベートーベン作曲の合唱付き交響曲「第九」を、プロの指揮やオーケストラのもとで歌う「若狭小浜第九演奏会」。平成5年に始まり、今や小浜の冬の風物詩となっています。

実行委員長の大橋さんは、合唱の魅力を「みんなで1つの音楽を作り上げる一体感」と語ります。

「お互いの苦手を補い、得意を生かせるのが合唱の強み。若い人なら声量や高音を、ベテランなら培った技術を生かして、厚みのあるハーモニーを奏でた時の感動は格別です」

市民とプロが共演する第九演奏会を毎年開くのは、県内で小浜が唯一。大橋さんは、「若い世代にとっては、年1回でも、地元で本物の音楽に触れる機会は貴重。中高生などにも第九の輪を広げたい」と話します。

12月12日㈰の「第28回第九演奏会」には、10代～80代の約70人が参加予定。医師を招き研修会を開くなど、新型コロナ対策を徹底して臨みます。大橋さんは、「今こそ、音楽でみんなに夢や元気を届けたい」と、2年ぶりの開催にかける思いを語ってくれました。

健康 生活のとびら

医療における画像診断医の役割

杉田玄白記念 公立小浜病院
■問い合わせ ☎52・0990

放射線科
川上悟司（かわかみさとし） 医師

がん検診 最先端の検査装置で

画像診断医は、がん検診などの検査結果の画像を見て、正確に病状を判断する仕事をしています。

皆さんは当院に受診された際、さまざまな画像診断検査を受けられたことがあると思います。その中でも、がん検診において、最先端の検査ができる「PET（ペット）／CT（シーティー）検査」装置は、嶺南では当院にのみあります。この装置は、PETとCT、2つの検査を同時に短時間で行うことが可能です。

「PET検査」と「CT検査」

PET検査は、がん細胞が正常な細胞よりも、多くの「ブドウ糖」を必要とする性質であることに着目した検査です。ブドウ糖に反応して、ごく微量の放射線を出す薬剤を体内に注射し、「PETカメラ」で、薬剤が全身に分布した様子を撮影します。

がん細胞には、正常細胞より薬剤がたくさん集まります。これを利用して、薬剤から出される微量の放射線を写し出し、がんの位置や大きさ、進行度合いを調べます。

CT検査は、臓器の形をしっかりと映し出す検査です。人体に多方向からX線を照射して、画像機器に輪切りの体を表示し、臓器の形の変化を見て、がんを診断します。

慎重に検査結果を判断

検査の性質上、体の部位によっては、正常であっても、がん細胞があるかのような反応を示してしまうことがあります。がんによる異常か否かを判断するため、画像診断医は、検査装置の特性や体の仕組み、薬剤の作用などを理解し、慎重に診断をしています。

歴史探訪

ふるさと文化財めぐり

学芸員が教える、「思わず人に話したくなる」歴史の裏話

鳳足石硯（ほうそくせきすずり）

宮川地区で採れる紫石（しせき）で作るすずりは、江戸時代の人々にとって、ブランド価値が高いあこがれの逸品でした。

小浜藩主の酒井忠勝（さかいただかつ）が後水尾（ごみずのお）上皇に献上した紫石のすずりは、愛用され、上皇の死後に「鳳足硯（ほうそくすずり）」と名付けられたことから、宮川産の紫石製のすずりを「鳳足石硯」と呼ぶようになりました。

▲酒井忠直が瑞巌寺に奉納した「紫石硯」。
写真は内箱（左）とすずりの表面（右）
※写真提供：瑞巌寺

小浜から遠く離れた日本三景・松島（宮城県）には、戦国武将・伊達政宗（だてまさむね）の菩提寺である瑞巌寺（ずいがんじ）があり、酒井忠勝の子・忠直（ただなお）が奉納した鳳足石硯が、宝物として伝わっています（左上写真）。

政宗と忠勝は、江戸城の中で相撲を取ったと伝わっており、戦乱の世を生き抜いた政宗のお茶目な姿を示す逸話です。瑞巌寺のすずりは、忠直が、政宗と忠勝の仲をしのんで奉納したのかもしれませんね。

忠直は、他にも伊勢神宮や春日大社、東大寺、若狭神宮寺など、全国の有名な寺社に鳳足石硯を奉納しています。

藩主から大名や公家への贈答品にも用いられた鳳足石硯は、やがて人々のあこがれの的となり、産地である宮川の名も全国に知られるようになったのです。

---------- 有料広告 ----------

安心と信頼 地元の石屋さん
お墓ディレクター（1級）在籍
（日本石材産業協会登録第 12-100024 号）

㈲杉田石材店
お気軽にご来店下さい。
お電話でのご相談も承ります。
小浜市小浜広峰 55
☎（0770）52-0748・FAX（0770）52-0853

小浜自動車学校
進路が決まれば運転免許！
学生割引キャンペーン
新型コロナウイルス感染拡大予防対策をしっかりと継続・実施して参ります。
0120-52-0839

12/18 ～ 21 柚子ゆずってください！
2kgで入浴招待券1枚進呈
12/22 冬至 爽やかな香り！
現物柚子風呂
お食事処だけの利用もできます！
小浜市川崎3-4 食文化館内 TEL0770-53-4126
御食国若狭おばま 濱の湯（ヨイフロ）

福井県シルバー人材センター連合
高齢者活躍人材確保育成事業
シルバー人材センター会員募集
人のため、まちのために働き隊！
60歳以上、元気はつらつマン募集中！
（公社）若狭シルバー人材センター
小浜市遠敷 84-3-4 サン・サンホーム小浜内
☎（0770）56-5115・FAX（0770）56-5088

電動カートでもっと自由な毎日を！
ご納得いただけるまで試乗＆安全運転指導いたします！
あんしん保険・点検付き
認定中古車 電動カート 178,000円～
【お問い合わせは】JA福井県 若狭基幹支店 経済部 経済課 ☎56-5024

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム
AIVIX
株式会社アイビックス
若狭支店／917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

---------- 有料広告 ----------

郵便局長期スタッフ大募集！
★ 正社員登用制度あり
★ 有給休暇制度あり
★ 勤務日数等に応じ賞与あり
作業内容 バイク・軽四輪で郵便物や荷物を配達します
勤務先 小浜郵便局・高浜郵便局
時給 1，000円～（年2回の昇給制度あり）
月収例 168,000円～（8時間、月21日勤務の場合）
勤務時間 小浜郵便局（要相談）
高浜郵便局（8:30～17:15）
日本郵便株式会社 小浜郵便局
〒917-8799 小浜市一番町1-1
☎ 0770-52-0951
（担当：川端 受付時間 平日9:00～17:00）
JP POST 郵便局

4K対応テレビには
BS4K放送対応STBを
おすすめします！

BS4K 放送対応 STB（2TB HDD 内蔵）
BS4K 放送が見れて！録れて！
取付料金 27,500 円（税込）！
詳しくはチャンネル０までお問い合わせください。
☎（0770）52-7200

編集後記

●今月は今富地区のふるさとまつりを取材（裏表紙）▼企画の1つとして、地域の方が長年収集した歴代の「広報おばま」約400冊から、地元ゆかりの人々の写真や記事約140点を展示していただきました▼家族や知人、自身の姿を見つけ、目を細めて昔話に花を咲かせる人たち▼自分の仕事が形として残ることの喜びを実感すると同時に、その責任に身が引き締まる思いを得た一日となりました（池）

●市制施行70周年記念式典で上映の「市PR動画」を制作した高校生たちを取材しました▼「写真で制作の様子を伝えたいので、再現してほしい」と伝えると、その場で快く応じてくれる高校生たちに感謝▼企画・編集など制作にかけた思いを聞くことができました▼学生ならではの発想を元に、丁寧に作り込まれた作品は、どれも見応えのあるものばかりなので、ぜひご覧ください（視聴方法は3P）（理）

広報おばま
本紙の一部には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
No. 816 令和3年11月25日（木）発行
■発行 福井県小浜市 〒917-8585 小浜市大手町6番3号
■編集 企画部広報・デジタル推進課 ☎64・6009 FAX53・0742
■ホームページ https://www1.city.obama.fukui.jp/
■電子メール kouhou@city.obama.fukui.jp
■印刷 若越印刷（株）小浜営業所

サツマイモ掘り体験（聖ルカ乳児保育園・10月12日）

ふるさとまつりで今富小学生が自分たちで植えたコメを販売（今富公民館・11月6日）

地域の出来事などをSNSで発信しています

市公式 Twitter（ツイッター）

市公式 Facebook（フェイスブック）

小浜市防災メール

災害や避難の情報をお知らせします。登録は、右の二次元コードもしくはWebサイト（ウェブ）（https://mail.cous.jp/bousaiobama/）から手続きしてください

人の動き（11月1日）

【人　口】28,650人（前月比　-22人）
（前年同月比 -338人）
【世帯数】12,118世帯

【男性】14,105人
【女性】14,545人

【転入】56人　【転出】61人
【出生】10人　【死亡】27人